

心をつなぐ会（3年生から1・2年生の皆さんへ）

2月18日に、『心をつなぐ会』が行われました。これは卒業を直前に控えた3年生が、1・2年生の生徒の皆さんへ伝えたい思いを語る会です。この3年間、ひとりひとりが色々な経験をし、喜んだり、つまずいたりしてきたことと思います。でも、それを乗り越えてきたから今があるのだと思います。発表してくれた3年生の皆さん、本当にありがとうございました。1・2年生から、たくさんの質問が出ましたが、自分の経験をもとに、自信を持って答えてくれました。3年生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんが残してくれた輝かしい足跡と心は、確実に1・2年生に引き継がれたと思います。目には見えませんが、これが稲羽中の伝統だと、改めて感じました。来年度も素晴らしい稲羽中学校になると確信しました。ありがとうございます。



私は中学校3年間で2つの壁を乗り越えてきました。《中略》リーダーをやっていることもあり、あいさつの手本をみんなに示さなければならないというプレッシャーがありました。口では「あいさつをしましょう」と言っても自分がしっかりやっていなければ口先だけになってしまいます。それは絶対だめだと思いましたが、先生方にしか先がけあいさつができませんでした。1・2年生とすれ違う時は、返してくれなかったらきまずいなあ、引かれたらどうしよう、と考えてしまい、結局無言ですれ違っていました。そんなとき、先がけあいさつをしてくれる1・2年生を見て、心が温かくなりました。後輩から先がけあいさつの大切さを学びました。それからは恥ずかしいという気持ちを捨て、勇気をふりしぼってあいさつを続けています。《中略》2つ目は学習です。3年生になって、なかなか学力が上がりませんでした。そこで始めたのが『解き直し』です。解いた問題で間違っていたものをもう1回解いてみるということです。私はこれを、○（正解）になるまで続けました。難しい問題は4・5回解き直したことがあります。この『解き直し』のおかげで、解説を読んで分かった気になっていた問題も、ヒントなしで自分の力で解けるようになりました。《中略》この2つの壁を乗り越えて、自分の力を向上させることができました。まだまだ未熟なところもたくさんあると思うので、卒業までもっともっと成長していきたいと思います。

【1年生の皆さんは4月から「先輩」ですね。新1年生を温かく迎え、姿で手本を示してください。後輩は先輩のことをよく見ていますよ。2年生の皆さんは4月から「最高学年」ですね。1・2年生を引っ張って、よりよい稲羽中にしてほしいです。勉強も不安だと思いますが、後から後悔しないよう、今のうちからこうこつ継続してくださいね。一番大事なのは『壁にぶち当たったら（私もこれまでいろんな人に助けてもらった）1人で悩まず相談する！（親・先生・友達など）』いいヒントがもらえるはずですよ。】

私が成長したことは2つあります。1年生の頃は、いろいろ心配事があって学校を休んだこともあります。でも2年生になって、勇気を出し思い切ってこれまで話したことがなかった子と話したり、分からないことを先生に聞いたりして、少し自分を変えることが出来ました。辛かったことは今までにたくさんあったけれど、友達の支えが自分の成長につながりました。勉強の方法を変えたり、ノートのとめ方を変えたりいろいろ挑戦して学力もついてきました。《中略》高校では新しい環境で、知らない人がたくさんいる場所で過ごすので、たくさんの子を大切に充実した高校生活を送りたいです。2つ目は係活動です。「この係やりたいな」と思っても誰かと被るのが怖くてあきらめてしまっていました。でも、正直、あきらめてばかりいる自分が嫌で、自分に負けている気がしていました。そこで、自分がやりたい係が何をしなければいけないか、どんな働きをしているのかしっかり見たり、考えたりして、自信をもって立候補しみんなも認めてくれてその係になりました。その係になってから、みんなの前で話すことがあまり嫌ではなくなったし、仕事もみんなの支えや協力があって頑張れました。今まで係の仕事にやりがいもなくて、マイナスに考えてしまうことがよくありましたが、今はちがいます。《後略》